



市民の声を市政に反映

杉森ひろゆき

市議会議員 ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行
746号 2019年2月12日
 〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8
 TEL・Fax：870-0335
 携帯：090-5587-7693
 Mail：sugimori@max.hi-ho.ne.jp

東海第2原発の再稼働の危険性

規制委が推進委に

第4回定例会一般質問 ④-A

杉森議員は12月11日、牛久市議会第4回定例会で、①市長公約の進捗状況、②牛久シャッターの事業撤退対策、③駅前のムクドリ、④東海第2原発の再稼働の危険性について、一般質問しました。今号では④-Aを掲載します。

運転期間延長を認可

【杉森議員の質問】11月7日、原子力規制委員会が日本原子力発電株式会社（いわゆる原電）の提出していた東海第2原発の「運転期間延長」を認可しました。

110万kWの大型原発

東海第2原発は事故を起こした福島第一原発と同じ沸騰水型炉（BWR）で、出力110万kWの大型原発です。

多くの市民、研究者、団体と同様、私も名ばかりの規制委員会の暴挙に、満腔の怒りを

杉森 弘之

市政報告会

日時 **2月17日**（日）
 午後2時開会、4時閉会
 会場 三日月橋生涯学習C
 講座室

主催 杉森弘之後援会

連絡先 090-5587-7693



30km圏内に約100万人が居住

禁じ得ません。原発いらない茨城アクション実行委員会の抗議文を一部紹介します。

茨城は原電の実験場？

1970年代に設計した原発は30年余りの運転を前提に設計したものです。東海第2原発はすでに40年を迎えますが、それをさらに20年延長し、60年も運転することは「実験」に他なりません。…茨城県は日本原電の実験場ではありません。東海第2原発の審査に関する問題点は、…パブリックコメント1259件…にすべてが現れています。非難燃性ケーブルに防火シートを巻く方法を了承とした判断への批判、地震対策・津波対策の不備、フィルター付きベントへの疑義、これらに多くの批判意見が寄せられました。

100万人の住民避難？

茨城県民は、東海第2原発で過酷事故が発生した際の100万人規模の住民避難が現実になりえない計画であることを知っています。住民の避難計画が成立しない立地条件にある原発の再稼働は住民の生命と財産を奪うもの。

美ら(ちゅら)海を軍事基地に変えてはいけない 沖縄の民意を無視した法律違反

○ 辺野古の海はいのちの海

ジュゴンの餌場、ウミガメが産卵する砂浜、アジサシが営巣する岩場、貴重で多様な生きものを日々育む希少なサンゴ群…辺野古の海は5800種もの希少生物が生息する多様性あふれる世界に誇れる豊かな海です。

○ 違法な工事に「承認撤回」

2018年8月、沖縄県は、環境保全の不徹底、活断層や軟弱地盤、高さ制限を超える建物の存在など、工事の数々の違法性を指摘し、埋め立て承認を撤回しました。しかし政府・防衛省は「私人」に成りすまし「行政不服審査」を身内の国土交通大臣に請求し、県の「撤回」の効力を停止させました。工事の違法性は何ら変わっていません。政府は、地方自治を尊重し、沖縄県の決定に従うべきです。

○ 辺野古の海に土砂投入

2018年12月14日、政府は護岸で囲まれた海域に土砂を投入し始めました。

当初予定していた栈橋が台風の影響で損壊したため、琉球セメントという一民間会社の私設栈橋を目的外使用してまでして強行したのです。今回の投入区域は全体のわずか4%に過ぎず、「後戻りできない」というのは真っ赤なウソ。違法な埋立ては直ちに中止すべきです。



辺野古基地建設の予定海域に危険な活断層

○ 普天間は返還されない

昨年6月、稲田防衛大臣(当時)は、2005年に日米が合意した「緊急時に民間空港が使用できる」という条件が整わなければ普天間は返還されないと答弁。「普天間飛行場の危険性除去は辺野古が唯一」ではないのです。想定される那覇空港の使用は県が否定しています。

○ 埋め立て予定地は軟弱地盤

埋め立て予定地にマヨネーズのような軟弱地盤が広がっていることが判明。

活断層の存在も指摘されていますが、政府は未だに認めていません。

○ 工事費は当初計画の10倍

埋め立て工事は地盤改良など費用がうなぎ上りになり、沖縄県の試算では防衛省の費用が当初計画2400億円の10倍、2兆5500億円となります。米軍基地のために私たちの納める税金がさらに湯水のごとく投入されるのです。

(辺野古の海を土砂で埋めるな! 首都圏連絡会のリーフレットより)